

令和5年高島市教育委員会
第5回定例会議事日程

日 時 令和5年5月22日(月)
午後2時00分
場 所 高島市役所 新館2階 教育委員会室

1. 教育長あいさつ
2. 令和5年第4回定例会会議録の承認
3. 会議録署名委員の指名

委員 委員

4. 議事

- 日程第1 議第30号 高島市教育委員会事務点検評価委員の委嘱について
- 日程第2 議第31号 臨時代理につき承認を求めることについて
(高島市公民館職員の任命について)
- 日程第3 議第32号 高島市立学校結核対策委員会委員の委嘱等について
- 日程第4 議第33号 高島市重要文化的景観拠点施設の設置および管理に関する条例案に関する市長への意見について 当日資料
- 日程第5 議第34号 高島市立学校使用料徴収条例の一部を改正する条例案に関する市長への意見について 当日資料
- 日程第6 議第35号 財産の取得につき議決を求めることについての議案に関する市長への意見について
(今津学校給食センター連続炊飯ライン) 当日資料
- 日程第7 議第36号 財産の取得につき議決を求めることについての議案に関する市長への意見について
(安曇川学校給食センター食器類洗浄機・浸漬装置) 当日資料

日程第8 議第37号 令和5年度高島市一般会計補正予算（第4号）案に関する市長への意見について 当日資料

日程第9 議第38号 高島市教育委員会事務局職員の懲戒処分について 当日資料

5. 報告

報告第8号 令和5年度高島市立学校学校教育到達目標について

6. 今後の日程

- ・令和5年教育委員会第6回定例会

日時：令和5年6月27日（火）午後2時00分

場所：高島市役所 新館2階 教育委員会室

- ・令和5年教育委員会第7回定例会（案）

日時：令和5年7月26日（水）午後2時00分

場所：高島市役所 新館2階 教育委員会室

令和5年第5回定例会座席表

高木 亜矢 教育委員	田邊 栄美子 教育委員	川島 浩之 教育長	川原林 正英 教育委員	橋本 悟史 教育委員
---------------	----------------	--------------	----------------	---------------

教育指導部長 饗庭 一弥	高島市役所 新館 2階 教育委員会室 教育長 1 教育委員 4 説明員 13 事務局 2 <hr/> 合計 20			教育総務部長 木下 晃
学校教育課長 岡部 陽造				教育総務部次長 教育総務課長 熊地 吉之
学事施設課長 保木 等				教育総務部次長 市民会館長 山本 純子
学校給食課長 川崎 弘				社会教育課長 竹井 正人

給食施設整備 課長 西川 久志	図書館長 玉木 智恵	国スポ・障スポ 大会推進課長 野崎 良樹	市民スポーツ 課長 森本 正明	文化財課長 小川 祥枝
-----------------------	---------------	----------------------------	-----------------------	----------------

教育総務課 主査 末綱 美都	教育総務課 主任 松岡 弘晃
----------------------	----------------------

事務局

入口

傍聴席

議第30号

高島市教育委員会事務点検評価委員の委嘱について

上記の議案を提出する。

令和5年5月22日

高島市教育委員会

教育長 川 島 浩 之

高島市教育委員会事務点検評価委員の委嘱について

高島市教育委員会事務点検評価委員設置要綱（平成27年高島市教育委員会告示第10号）第3条の規定に基づき、次の者を高島市教育委員会事務点検評価委員に委嘱することについて、議決を求める。

記

氏 名	所 属 等	新任・再任
鎌田 一彦	元高島市立小学校長	新任
海老澤 文代	元高島市青少年育成市民会議会長	再任
杉浦 由香里	滋賀県立大学人間文化学部 人間関係学科准教授	再任

任期：令和5年5月23日から当該年度にかかる事務の点検および評価の完了の日まで

議第31号

臨時代理につき承認を求めることについて

上記の議案を提出する。

令和5年5月22日

高島市教育委員会

教育長 川 島 浩 之

臨時代理につき承認を求めることについて

高島市公民館職員の任命については、高島市教育委員会の教育長に対する事務委任規則（平成17年高島市教育委員会規則第6号）第2条第2項の規定により、令和5年5月1日に次のとおり臨時に代理したので、同条同項の規定によりこれを報告し、承認を求める。

記

社会教育法（昭和24年法律第207号）第28条の規定により、次の者を公民館職員に任命することにつき、議決を求める。

公民館名	氏名	職名	新任 再任
安曇川公民館	芦谷 恵	社会教育指導員	新任

任期：令和5年5月1日から令和6年3月31日まで

議第 3 2 号

高島市立学校結核対策委員会委員の委嘱等について
上記の議案を提出する。

令和 5 年 5 月 2 2 日

高島市教育委員会

教育長 川 島 浩 之

高島市立学校結核対策委員会委員の委嘱等について

高島市立学校結核対策委員会規則（平成 2 7 年高島市教育委員会規則第 9 号）第 3 条第 1 項に基づき、高島市立学校結核対策委員会委員に別紙のとおり委嘱または任命することにつき、議決を求める。

別紙

令和5年度高島市立学校結核対策委員会委員

区分	委員種別	氏名	備考
1号	医師会の代表	松本 道明	高島市医師会
2号	結核の専門家	安藤 武	高島市民病院
3号	学校医の代表	岡田 清春	おかだ小児科医院
4号	高島保健所の所長	切手 俊弘	高島保健所
5号	市立学校の校長	尾中 一彦	新旭北小学校
		清水 佳治	マキノ中学校
6号	市立学校の養護教諭	岡本 麻代	安曇小学校
		武田 美代子	マキノ西小学校
7号	教育長が必要と認める者	小谷 愛子	高島市健康福祉部 健康推進課
		岡部 陽造	教育指導部学校教育課

任期：令和5年6月1日から令和6年5月31日まで

報告第8号

令和5年度高島市立学校学校教育到達目標について

令和5年度高島市立学校学校教育到達目標について、別冊のとおり報告する。

令和5年5月22日

高島市教育委員会

教育長 川 島 浩 之

令和5年度 高島市立学校 学校教育到達目標

マキノ東小学校	1
マキノ西小学校	2
マキノ南小学校	3
マキノ中学校	4
今津東小学校	5
今津北小学校	6
今津中学校	7
朽木東小学校	8
朽木西小学校	9
朽木中学校	10
安曇小学校	11
青柳小学校	12
本庄小学校	13
安曇川中学校	14
高島小学校	15
高島中学校	16
新旭南小学校	17
新旭北小学校	18
湖西中学校	19

令和5年度 学校教育到達目標 高島市立マキノ東小学校

〈児童生徒の実態〉
 ・指示されたことには真面目に取り組める児童が多い。
 ・論理的に書いたり表現したりする力に差が大きい。
 ・見通しをもち筋道を立てて考えることが苦手な児童が多い。
 ・活力は感じられるが、言動の幼さが感じられる児童が目立つ。

〈めざす子ども像〉
 ○自ら考え表現する人
 ○人を大切にする人
 ○挑戦する人
〈めざす学校像〉
 ○学ぶ喜びがあり充実できる学校
 ○明るさに満ちた安心できる学校
 ○家庭や地域とともに歩む学校

〈本校の教育課題〉
 ・学びの基礎基本の徹底と思考力、判断力、表現力の育成
 ・自ら考え行動する態度の育成
 ・自己有用感の醸成
 ・ふるさとを愛する心の醸成
 ・日常的な健康づくり習慣の確立
 ・家庭、地域の学校づくりへの参画

〈学校教育目標〉
**ふるさとを愛し
 心身ともに健康で
 自ら学び挑戦する人の育成**

〈地域の実態等〉
 ・恵まれた自然環境
 ・歴史ある街並み、高い文化
 ・学校教育への高い関心と期待
 ・少子高齢化
 ・新興住宅地の増加と旧市街の人口減少
 ・学校に対する協力的な姿勢

〈中期的目標〉
 ○自分で考え、それを表現する力の伸長
 ○町内他校園と連携した道徳を核とした授業改善の推進
 ○家庭、地域とともに学校づくりを進めるパートナーシップの構築
 ○自然や地域を素材とした学びの深化
 ○主体性を育て、生き方を学ぶ教育の推進
 ○「いじめ」「不登校」のない安心、安全な学校づくり
 ○教職員の授業力・指導力・課題対応力向上

〈R4学校評価 概要〉
 ・「マ東漢字検定」「予習復習ノート」の実施による学習習慣の確立と学習意欲の向上 A
 ・読書環境の充実と読書活動への意欲の喚起(図書室の整備と蔵書の充実) B
 ・互いの思いを出し合える集団づくりに向けた継続的な実践 A
 ・主体的、対話的な学習に向けた道徳科を中心とした授業改善 B
 ・意見交流や情報収集・共有のためのツールとしての日常的なタブレット利用 A
 ・あいさつの習慣形成、いじめ撲滅に向けた児童の主体的な取組の展開 A
 ・地域とともに進める自然教室の実施と各学年における地域学習の充実 A
 ・適正なスクリーンとの接触についての理解促進 B
 ・学校運営協議会や地域学校協働活動等のリンクの強化 B

【本年度の指導力点】

○学びの基礎基本の徹底
 ・学習規律の徹底
 ・読書環境の充実と読書の奨励
 ・マ東検定や予復ノートの実施による学習習慣の定着
 ・相手の話を聴き反応できる態度の育成

○子どもをつなぐ学びの創造
 ・道徳教育の要としての道徳の時間の更なる充実
 ・生徒指導の3機能を具現化した学習活動の展開

○豊かな人間関係と社会性を育む教育の推進
 ・相手の立場を考え行動する集団づくり
 ・仲間の良さを認めるための児童の主体的な取組
 ・異年齢交流の活性化と自己肯定感の醸成

○健康の保持増進と体力の向上
 ・体力づくりへの意欲の向上と目標をめざして頑張りぬく児童の育成
 ・自分の健康について考え、管理できる力の向上

○地域のよさを生かした教育の充実
 ・校区全域を生かした学習活動の実施
 ・自然教室への取組による、達成感や感動の感受及び琵琶湖環境保全への意識高揚
 ・故郷を愛する心の醸成
 ・園小中一貫教育の推進

【到達目標・数値目標】

・『マ東漢字検定』『予習復習ノート』の実施による学習習慣の確立と学習意欲の向上
 ・家庭学習は、「読書、宿題、予習・復習」を合わせて、1年20分、2年30分、3年45分、4～6年60分以上【目標90%以上】
 ・読書貯金の実施、家読(週末読書)の取組【Q「読書貯金の目標達成に向けて頑張っている」目標90%以上】

・互いの思いを出し合える集団づくりに向けた継続的な実践【Q「授業中進んで発表したり話し合いに参加したりしている」目標90%以上】
 ・主体的、対話的な学習に向けた道徳科を中心とした授業改善【Q「授業中友達と話し合う活動がよくある」目標95%以上】【「道徳の学習が好き」目標90%以上】
 ・タブレットの日常的活用

・全校児童による異年齢集団(縦割り活動)活動の充実
 ・児童が主体となったいじめ撲滅に向けた取組の継続
 ・いじめ点検や情報交換会によるいじめや不適応の早期発見、未然防止[週1]
 ・課題のある児童への組織的対応の充実と保護者への効果的な発信、連携
 ・【Q「いじめはどんな理由があってもいけない」目標100%】

・年間を通したマラソン、なわとびの取組による継続的に運動に取り組む態度の育成
 ・「早寝・早起き・朝ご飯」の推進
 ・家庭でのゲームやネット利用の自己管理能力育成【Q「ゲームやインターネットをする時間は合わせて1時間以内」目標70%以上】

・地域とともに進める自然教室の実施
 ・町内合同マラソン、合同陸上練習等町内合同開催事業の実施
 ・地域人材によるキャリア形成につながる学習
 ・各学年における地域学習の実施と地域連携カリキュラムの完成
 ・活動を支えてくださる人々への感謝の思いの伝達と交流
 ・【Q「マキノが好き」目標100%】

〈児童生徒の実態〉
 ○明るく素直で活動的である。
 ○勤勉で何事にも真面目に取り組むことができる。
 ○概して主体性に欠け、伝える力・自立心向上が課題である。

〈めざす子ども像〉
 ○自分を表現する子
 ○学び合う子
 ○挑戦する子
 〈めざす学校像〉
 ○人権を守り、夢や希望を育む学校
 ○自分の力を発揮できる学校
 ○安心・安全な学校
 ○地域とともにある学校

〈本校の教育課題〉
 ○教育活動全体での道徳的実践力と人権尊重の実践的態度の育成
 ○教育のUD化と教職員の指導力、対応力の向上
 ○「読み解く力」の視点を踏まえた授業づくりの推進・充実
 ○子どもの生活力と学力の向上

〈学校教育目標〉
 笑顔あふれ つながり
 やり遂げる 南小の子ども

〈地域の実態等〉
 ○百瀬川を校区の象徴としてとらえ地域愛が強い。
 ○保護者や地域の方は総じて学校の教育活動に理解を示し、協働的な支援活動にも協力的である。
 ○近年、児童数の減少が著しい。

〈中期的目標〉
 ○学校地域連携カリキュラムの確実な遂行
 ○家庭での自主学習の定着
 ○いじめ、不登校、体罰のない安心・安全な学校づくり
 ○教職員の授業力、課題対応力の向上

〈令和4年度学校評価 概要〉
 ○児童評価 学習理解(B) 家庭学習の定着(B) 学校が楽しい(A) いじめ防止(B) 相談の受け止め(A) あいさつ等生活リズム(A) 安心安全な学校(A)
 ○保護者評価 学習理解(A) 家庭学習の定着(B) 学校が楽しい(A) いじめ防止(A) 相談の受け止め(A) あいさつ等生活リズム(A) 安心安全な学校(B)
 ○学校関係者評価 学力アップ(A) 心アップ(B) 元気アップ(B) 教職員の力量アップ(A) 保護者・地域との連携アップ(A)

学び深く(学力アップ)のための力点
 ◎個別最適・協働的な学びの実現
 ・タブレット型端末の効果的な活用
 ・魅力ある学習課題、導入、発問の工夫
 ・自己の考えを広げたり深めたりすることのできる対話の工夫
 ・児童同士、教師や大人とつながる授業の創造
 ◎学習習慣と学力の定着
 ・個に応じたきめ細やかな指導の徹底
 ・自分を表現する力を伸ばす取組の充実
 ・全校で統一した学習規律、学習習慣の確立
 ・授業とつながりのある家庭学習

笑顔あふれ(心アップ)のための力点
 ◎道徳・人権教育の充実
 ・考え、議論する道徳科の推進
 ・多様な経験を積み重ね、友だちやまわりを思いやる心の育成
 ◎いじめのない学校づくり
 ・チームで取り組む生徒指導と、早期発見、迅速な初期対応の徹底
 ・自分も友だちも大切にできる人間関係の基盤づくり
 ◎キャリア教育の推進
 ・自己肯定感を育む学級経営の充実
 ◎特別支援教育の推進
 ・教育のUD化
 ・個が受け入れられる指導の徹底
 ◎凡事徹底の学校風土の構築
 ・当たり前のことを当たり前(挨拶・返事・整理整頓・掃除・時間厳守)

健やかに(元気アップ)のための力点
 ◎健康な体づくりと運動に親しむ環境づくり
 ・たてわり遊びの充実
 ◎防災・防犯意識の向上
 ◎やり切る姿勢づくり

地域とともにある学校
 ◎地域の人と目標やビジョンを共有し地域と一体となって子どもたちを育む
 ◎子どもたちと地域の人がつながる教育活動の推進(学校地域連携カリキュラムの活用)

園小中一貫教育の推進
 ◎15歳の姿を見通した教育活動の創造
 ◎「自立と共生」の力をもって生き抜く子どもの育成

学び深く(学力アップ)
 ◎個別最適・協働的な学びの実現
 ・1人1回以上の研究授業実施による授業力の向上(授業改善)
 ・OJT研修の充実と教育財産の共有化の推進
 ▷児童、保護者の授業評価 90%以上
 ▷授業改善への自己評価 90%以上
 ◎学力の定着
 ・低学年からの学習規律の定着
 ・授業と家庭学習のつながりの重視
 ▷全国学学調査の無回答率 5%未満
 ▷全国学学調査2教科で全国平均超

笑顔あふれ(心アップ)
 ◎道徳・人権教育の充実
 ▷道徳の授業は楽しい 90%以上
 ▷道徳の時間に必ず発表した 90%以上
 ・読書活動の推進
 ◎いじめのない学校づくり
 ・定期的な教育相談と調査票の実施
 ▷学校が楽しい子 90%以上
 ▷いじめ防止への取組評価 90%以上
 ◎キャリア教育の推進
 ・夢きっかけ講座Ⅲの実施
 ▷自己肯定感を持つ子 90%以上
 ◎特別支援教育の推進
 ・個にあった指導、対応と個別の支援計画の作成と活用
 ◎凡事徹底の学校風土の構築
 ▷しっかりあいさつができる 90%以上
 ▷時間を守る 90%以上

健やかに(元気アップ)
 ◎健康な体づくりと運動に親しむ環境づくり
 ▷進んで運動に取り組む子 90%以上
 ◎▷危機対処能力の理解 90%以上
 ◎▷あきらめずにやり遂げる 90%以上

地域とともにある学校
 ◎地域の人と目標やビジョンを共有
 ▷年5回の学運協での熟議の実施
 ◎地域の人とつながる教育活動
 ▷地域との協働した教育活動を各学年で毎月1回以上実施

園小中一貫教育の推進
 ◎他校との合同教育活動の実施(各学期1回以上)
 ◎中学校区での研究推進事業の発展・継続

<生徒の実態>

- ・誰にも挨拶ができる。
- ・学習、部活動、学校行事に意欲的に取り組み、落ち着いて学校生活を送る生徒が多い。
- ・受け身的であり、周りを見て行動する生徒が多い。
- ・学力差が見られる。

<めざす生徒像>
思いやりの心や粘り強さを大切にし、自ら考え、判断し、行動する生徒

- 自他のよさを認め、互いを大切にできる生徒
- 夢や目標の達成のために、考え努力する生徒
- 感謝の言葉が素直に言える生徒
- 地域に自ら役立とうと行動する生徒

<めざす学校像>

- 「チームマキノ」を合言葉に生徒を育てる学校
- 挑戦し、変化を創り出す学校
- 自ら考え判断し行動する力を付ける学校
- 地域とともに教育活動を推進する学校

<本校の教育課題>

- 主体的・自主的に活動する生徒の育成
- 読み解く力を踏まえた授業改善
- ・個別最適な学びと協働的な学びの充実
- ・ICT機器を活用した授業の充実
- 地域とともにある学校づくりの活性化

<学校教育目標等>

品位・気魄・和合

～思いやりの心や粘り強さを大切に
し、自ら考え、判断し、行動する生徒
の育成～

<地域の実態等>

- ・少子高齢化が進む地域
- ・三世帯同居家庭は多いが、さまざまな支援が必要である。
- ・PTA活動や学校行事への参加率は高く、協力的である。
- ・地域の方は依頼すれば協力的である。

<中期的目標>

- 意欲的に学びに向かう態度の育成
- 自他を大切にする態度の育成
- 自己有用感を高める指導の推進
- 理想の大人として研鑽を積む教職員
- 全教職員で全生徒を育てる組織の充実

<令和4年度学校評価の概要>

- ・授業がよくわかる 92% ・授業中に自分の考えが言える 75% ・道徳の授業はためになる 98%
- ・部活動の充実 94% ・いじめ点検月2回実施 ・地域貢献活動各学年1回以上実施

(関係者評価) 学校の方針とその実現に向けて、教職員と生徒が実践していることがよく分かった。特に地域貢献活動により、マキノに愛着を育む活動が充実していたと考える。引き続き、生徒のしんどさに寄り添いサポートしてほしい。地域もできることをしていきたい。

<本年度の指導力点>

- 学力の向上
 - ・主体的な学びの確立
 - ・学び合う学習の充実
 - ・言語活動の充実
 - ・基礎基本の徹底
 - ・ICT機器を活用した授業実践
- 豊かな心づくり
 - ・道徳教育の充実
 - ・全校縦割り活動の充実(集団づくり)
 - ・生徒会主体の学校行事の活性化
 - ・生徒指導教育相談の充実
 - ・地域貢献活動の充実
- 健康な心身の育成
 - ・健康な生活リズムの確立
 - ・自己管理の定着
 - ・挨拶運動の充実
 - ・部活動の充実
- 保護者・地域とともにある学校の創造
 - ・総合的な学習の時間を活用した地域との連携
 - ・積極的な情報発信
- 小中一貫教育の推進
 - ・キャリア教育の充実
 - ・小中合同研究の充実

<本年度の到達目標：数値目標等>

- 生徒85%以上が「授業がよくわかる」と回答
- 生徒85%以上が「やる気をもって授業に取り組んだ」と回答
- 生徒85%以上が「自分の考えを授業で伝えた」と回答
- 補充学習の実施
- 生徒85%以上が「タブレット端末や資料を使ってする授業は楽しい」と回答
- 生徒80%以上が「道徳はためになる」と回答
- 生徒会活動や縦割り活動を通じた生徒主体の学校行事
- 「いじめ点検」を月2回実施
- 生徒90%以上が「先生はよく関わってくれる」と回答
- 地域貢献活動 生徒年間1回以上
- 生徒90%以上が「学校に来るのが楽しい」と回答
- 生徒85%以上が「時間に余裕をもって登校できた」と回答
- 生徒90%以上が「近所の人に挨拶ができる」と回答
- 生徒90%以上が「部活動が充実している」と回答
- 地域とつながる学習活動の実施
- 「メール配信」の充実
- 年間2回の保護者・生徒アンケートの実施と学校評価結果の公表
- 安全・危機対応研修の実施
- 保護者対象「いじめ点検」月1回
- 学校運営協議会を通しての地域学校協働活動の実施
- 園小中のこども交流 年間3回以上
- 合同研究会・研修会の実施

〈児童の実態〉
 ○素直で、人なつっこい。
 ○多様な個性、あふれる好奇心。
 ●読み取る力や伝える力が弱い。
 自信、意欲、根気、達成に課題がある。
 ●学習意欲に個人差が大きい。
 ●個別支援を要する児童が多い。

〈めざす子ども像〉
 ○かんがえ(知) 学びの楽しさを知り、自ら学びに向かう子の育成
 ○おもいやり(徳) 自他を愛する豊かな心の育成
 ○たくましい子(体) 体力や気力、生きる力の育成
 ○地域に学び、地域を愛する心の育成(郷土愛)

〈めざす学校像〉
 ○地域とともにいる学校
 ○安全・安心が守られた信頼される学校

〈本校の教育課題〉
 ○基礎学力の定着、思考力・表現力に課題
 ○人間関係の構築に支援を要する児童が多い。
 ○通常学級において特別支援を必要とする児童が多く、きめ細かな支援が行き届きにくい。
 ○不登校傾向の児童が複数。保護者との連携を密にした個に応じた指導・支援が必要。

〈学校教育目標〉
ふるさとを愛し、豊かな心を育み、自ら学びに挑戦する子の育成
 ・思いやりのある子
 ・ふかく考える子
 ・強くたくましい子

〈地域の実態等〉
 ・豊かな自然、歴史文化伝統に恵まれた環境を有する。
 ・過疎化の進む地域と新興住宅地があり、個性豊かで価値観も多様である。
 ・少子化の進行に伴う児童数の減少に歯止めがかからない。
 ・家庭や地域の教育力は一定保たれつつも、協力が得にくい家庭もある。

〈中期的目標〉
 ○言語能力の向上を図り、正しい用語による論理的な表現力の育成を図る。
 ○成就感や達成感を高める行事の工夫と連帯感や充実感を深める学級づくり
 ○すこやかタイムの定着と保健安全指導の工夫
 ○体験的学習・地域学習の更なる推進

〈R4学校評価 概要〉
 ○(児) 学校が楽しい81%、勉強がわかりできる88%、授業中、自分の考えをよく発表60%。
 ○(教) よくわかる授業95%、ICTを活用した授業82%、問題行動の早期発見90%。
 ○(学運協)
 ・子どもが元気で楽しく学校へ来るのが一番。体力作りも続けていくことを期待する。また、タブレットを使っての新しい取組にも挑戦してほしい。先生も元気で楽しいと感じることが大事。子どもの思いに気づいてあげられる学校になってほしい。
 ・学校地域連携カリキュラムを実践する中で、小中の連携をどうするか、その中でどうすれば地域の方に参画してもらうことができるかを考えていけるとよい。住民自治協議会とも連携を。

学びの楽しさを知り、自ら学びに向かう子の育成のための力点
 ◎学びの意味や多様な学び方の獲得と学習意欲の向上
 ◎ICT教育、個別最適化された学び・協働的な学びの推進(校内研究)
 ◎「読み解く力」の育成と授業改善

自他を愛する豊かな心を育成するための力点
 ◎いのち・人権
 ・生活の合言葉／あ・したの3つ「あいさつ、しんせつ、たいせつ」
 ・毎月10日は「校内人権の日」
 ◎いじめゼロの実践
 ・いじめ撲滅に児童会が主体となって取り組む
 ・PTAや地域の団体等と連携し、地域ぐるみで思いやりの心を育む

体力や気力、自立する力を培うための力点
 ◎規則正しい生活習慣の定着
 ◎体育的行事のほか、外遊びを励行し、健康でたくましい身体を育成
 ◎体験学習や異年齢集団での学習機会等により、生きる力(生活力・自立する力)を育成

地域とともにいる学校
 ◎信頼される学校・期待に応える学校
 ◎学校運営協議会と一体となった学校運営
 ◎地域学校協働活動のさらなる充実
 ・はなまる広場の活動充実
 ◎学校地域連携カリキュラム実践
 ・住民自治協議会、環境を守る今津の会等との連携

小中一貫教育の推進
 ◎共同授業研究
 ◎学校地域連携カリキュラム実践
 児童生徒の交流の促進

かんがえ(知)
 ◎児童の自己評価「勉強がわかり、できる」85%、「授業中、自分の考えをよく発表している」70%。
 ◎「ICTを活用した授業に取り組んでいる」教員の割合85%以上(前年度82%)。
 ◎「読み解く力」を意識した授業づくりに努め、グループ学習を効果的に実施し、交流を深める授業を仕組む。

おもいやり(徳)
 ◎いのち・人権
 ①「学校に来るのが楽しい」の自己評価80%以上(前年度81%)。
 ②校内人権の日に、教員が交代で人権啓発のメッセージを伝える。
 ③校内人権週間の設定
 ◎いじめゼロ
 「学校は、いじめ問題に誠実に取り組んでいる」の保護者評価80%以上(前年度54%)。
 児童会による「あいさつ」「いじめ防止」の取組をすすめる。

たくましい子(体)
 ◎「すこやかタイムをはじめ、学校教育活動全般で体力づくりを図る」の自己評価80%以上。
 ◎「異なる学年の友だちとも仲良く活動できる」児童の割合80%以上(コロナ禍のため前年度の指標なし)。

◎学校運営協議会
 ・熟議を経た意見をもとに、全委員が執行者として学校運営に何らかのかかわりを持ち、学校地域連携カリキュラムを推進する。

◎小中一貫教育
 ・共同授業研究を通して小中連携した授業づくりに努める。
 ・学校・地域連携カリキュラム実践の中で小中連携の取組をすすめる。

〈児童生徒の実態〉

- ・明るく元気で、外遊びを好む。
- ・素直で人なつっこく、与えられた課題にはまじめに取り組む。
- ・困難なことに立ち向かおうとする気概にやや欠ける。

〈めざす子ども像〉

- ・基礎基本となる力を持ち、理解力・活用力をのばす子ども
- ・自他を愛する豊かな心を有する子ども
- ・健康でたくましい身体を有する子ども
- ・地域を知り、地域を愛する子ども

〈めざす学校像〉

- ・自ら学び、考え、行動する力を持った子どもを育てる学校
- ・児童の学力向上に努める学校
- ・人権意識を高め、豊かな人間性を育む学校
- ・たくましく生きるための健康な心身を育む学校
- ・地域に開かれ、地域の願いに応える学校

〈本校の教育課題〉

- ・児童が主体的な学びに向かうことができるよう、基礎基本の習得にむけた授業づくり
- ・豊かな心と人権意識を高めるための道徳の授業の工夫や学習機会の設定
- ・家庭学習の充実を図るための保護者との協力連携
- ・郷土愛の育成につながる教育活動の推進

〈学校教育目標〉

すすんで やさしく たくましく

人を思いやる豊かな心と自ら学ぶ意欲を持ち、ふるさとを愛する心身ともにたくましい子どもの育成

〈地域の実態等〉

- ・旧川上村を中心とした学区であり、農業により生活を支えてきた地域である。三世帯同居の家庭も多く、これまでの伝統を大切にして、地域で学校を支えていこうという風土がある。
- ・PTAの事業には協力的である。

〈中期的目標〉

- ・学力の基礎基本の定着を図り、自分の考えたことを表現につなげる。
- ・行事を通して成就感や自己存在感を深める学級づくり
- ・日頃から健康と体力を高めようとする意欲を育てる保健・安全指導の展開
- ・地域の特色を知り、ふるさとを愛する心情の育成

〈令和4年度 学校評価 概要〉

- ・少子高齢化が進む地域において、また、コロナ禍による制限のある中で、保護者や地域連携をふまえた様々な取組の成果が子どもの元気な笑顔につながっていると評価できる。今後もこの取組が大いに成果につながるよう、工夫を重ねてほしい。
- ・課題や問題点が出てくる中、学校の細やかな対応にとっても感謝している。すべての課題がクリアしているわけではないが、今年度の目標はクリアしていると考えている。さらに細部にも目を向け、なぜしなければならないのかが、子どもにもわかるように指導してほしい。
- ・小規模校の良さが活かされている。地域連携は安全面や個人情報の管理など考慮し、保護者も含め可能な限り広げてほしい。また、ICT活用のリテラシーやモラルの指導を継続してほしい。

学びあう子の育成のための力点

- ◎ 考えたことを話し合い、言葉を工夫して表現する学習活動の展開
- ◎ 主体的な学びにつながる、わかる授業の実践
- ◎ ICTの活用
 - ・正しい使用方法を理解し、興味関心を持ち、思考の深まりにつながる活用方法の工夫
 - ・情報機器を使ってまとめた成果物の発表機会の工夫

豊かな心を育むための力点

- ◎ いのち・人権を大切に
 - ・「いのち」の大切さを全教科・領域を通じた指導
 - ・学級や縦割り活動における、好ましい人間関係づくり
- ◎ いじめをなくそう
 - ・日常生活の中で、「楽しい学校」について考えさせる。
 - ・人権集会を契機として自分たちからいじめをしない環境づくり

健やかなからだづくりのための力点

- ◎ 体を動かすこと・外遊びの奨励と環境整備
- ◎ 体力づくりの推進
 - 自らの健康に関心を持ち、健康な毎日を送るための保健指導を推進

地域とともにある学校

- ◎ 地域教材の効果的活用と、地域人材から学ぶ場を創出する。
- 小中一貫教育の推進**
- ◎ 発達段階に応じた学習規範の推進
- ◎ 小中教員による授業づくり
- ◎ 学校地域連携カリキュラムの実証

学びあう子の育成

- ・「意欲をもって楽しく授業が受けられる」と回答する児童・・・80%以上
- ・家庭学習時間の定着化
20分（1, 2年）10分×学年（3年以上）
- ・話し合いを取り入れた学習活動
主体的・対話的で、深い学びの実現
各教科で単元のまとめ等で随時実施
- ◎ ICTを使った学習活動
 - ・タブレットの効果的な使い方について各教科の学習活動を通じて進める。

思いやり的心・豊かな心を育む

- ◎ いのち・人権・思いやり
 - ① やさしい言葉をかけられた経験
85%以上
- ◎ いじめのない学校づくり
 - ① 学校が楽しいと回答できる児童
90%以上
 - ② 場にあったあいさつがしっかりとできる。
85%以上

健やかな体

- ◎ 児童の体力向上への意欲を高める授業づくりや運動環境の工夫
 - ① 外遊びをする子
80%以上
 - ② 運動が好きと答える児童
80%以上
- ・児童会企画（リレー大会やなわとび大会やマラソントイムで体力増進の機会を設定
- ・ノーメディアウィークの取組

学校運営協議会

- ・学校と地域がつながる機会や方法について協議し、地域に開かれた学校づくりに努める。
- 小中合同による授業づくり**
- ・共同授業研究を機会として、学区内の児童生徒の学力状況や学習課題にせまる。
- ・中学校区で学校地域連携カリキュラムの実証

<生徒の実態>

- ・まじめで素直な生徒が多く、挨拶がしっかりできる。
- ・生徒同士の仲がよく、協力して物事に取り組める。
- ・学校行事や学友会活動などに主体性に取り組める。
- ・基本的な生活習慣や学習習慣が十分定着していない。
- ・人間関係づくりが苦手な生徒が増えている。
- ・自己肯定感や自尊感情に乏しい。
- ・個別に支援を要する生徒が増えている。

<めざす学校像>

- ・保護者や地域から信頼される学校
- ・明るく前向きに活動し、活力がある学校
- ・互いを認め、高め合い、温かさが感じられる学校

<めざす子ども像>

- ・あいさつや掃除がしっかりでき豊かな心と社会性を身につけた生徒
- ・確かな学力を身につけた生徒
- ・明るく元気で思いやりがあり、切磋琢磨しながら誰とでもうまく関わる生徒
- ・自分の考えを持ち、仲間のことを考えて行動できる生徒
- ・夢や希望、望ましい生き方を見つけ、目標に向かって粘り強く努力できる生徒

<本年度の指導力点>

- 学力向上・学習指導
 - ・主体的・対話的で深い学びの授業実践
 - ・朝読書の徹底
 - ・読み解く力の育成
 - ・話し合い活動の充実
 - ・基礎学力の定着
 - ・自己表現力の育成
 - ・ICT機器の有効活用
 - ・学習規範の徹底
 - ・個に応じた学習形態の実践

<本年度の到達目標：数値目標等>

- ・授業が楽しみな生徒 75%以上
- ・先生は授業を工夫していると感じる生徒 80%以上
- ・学習を理解できるように頑張っている生徒 80%以上
- ・朝読書、朝学習にしっかり取り組める生徒 80%以上
- ・ICTを効果的に活用した授業実践に取り組む
- ・個に応じた学習形態を工夫し実践する

<本校の教育課題>

- ・確かな学力の定着
- ・豊かな心と感性の育成
- ・健やかな心身の育成
- ・キャリア教育の推進
- ・個に応じた教育の推進
- ・社会的自立の育成
- ・保護者と教師の信頼関係づくり

《校訓》

真理の探究・正義の実践・平和の愛好

《教育目標》

ふるさとに愛着をもち
 豊かな心と社会性を育み
 夢の実現を図る生徒の育成

- 豊かな心づくり
 - ・自己肯定感を高める工夫
 - ・キャリア教育の充実
 - ・体験活動の実施
 - ・集団を質を高める行事の実施
 - ・生徒指導の充実
 - ・学友会活動の活性化
 - ・教育相談の充実
 - ・特別支援教育の推進

- ・自分に自信がもてるどころがある生徒 75%以上
- ・道徳の授業で自分のことや生き方について考えた生徒 80%以上
- ・キャリアパスポートの活用と各学年講師を招聘した生き方に関する講演会の実施
- ・学友会活動が主体的または協力的におこなわれている生徒 80%以上
- ・学友会によるいじめ撲滅運動の推進
- ・学校行事では周りの人のことを考え行動できた生徒 80%以上
- ・挨拶がしっかりできる生徒 80%以上
- ・各学期に生徒全員の教育相談を行う
- ・特別な支援を要する生徒に係る情報交換(月1回)

生徒の目標
保護者や地域に対しての約束

<地域の実態等>

- ・教育に関心があり、学校に対する期待は大きい。
- ・保護者へ学校の情報や考えが伝わりにくい。
- ・家庭の教育力が弱くなりつつある。
- ・地域や生徒のためなら労を惜しまない人が多い。
- ・地域の未来を担う中学生を地域で育てようとしている。

<中期的(3年間)目標>

- ・わかりやすい授業を展開できるよう、教師の授業力を向上させる。
- ・積極的に学ぶ姿勢をもった生徒を育成する。
- ・感動や達成感が得られ、豊かな心を育む体験活動を実施する。
- ・学友会活動により自主、自治能力の育成を図る。
- ・自ら学び、考え、正しい判断をし、規律正しく自分の行動に責任がとれる生徒を育成する。
- ・地域や保護者に信頼され、地域とともにある学校づくりを推進する。
- ・生徒に寄り添い、率先垂範する教師集団を確立する。

- 健康な心身の育成
 - ・基本的生活習慣の徹底
 - ・体験活動の充実
 - ・部活動の充実
 - ・自主トレの実践
 - ・社会性の育成
 - ・人や地域へ感謝する心の育成

- ・4つの行動目標(校歌、挨拶、聞く態度、時間励行)の実践
- ・学友会活動が充実した生徒 80%以上
- ・学校が楽しいと感じる生徒 85%以上
- ・毎日10分の清掃ができた生徒 85%以上
- ・学校行事や部活動が楽しい生徒 85%以上
- ・先生に相談できそうな雰囲気がある生徒 80%以上

<令和4年度 学校評価の概要>

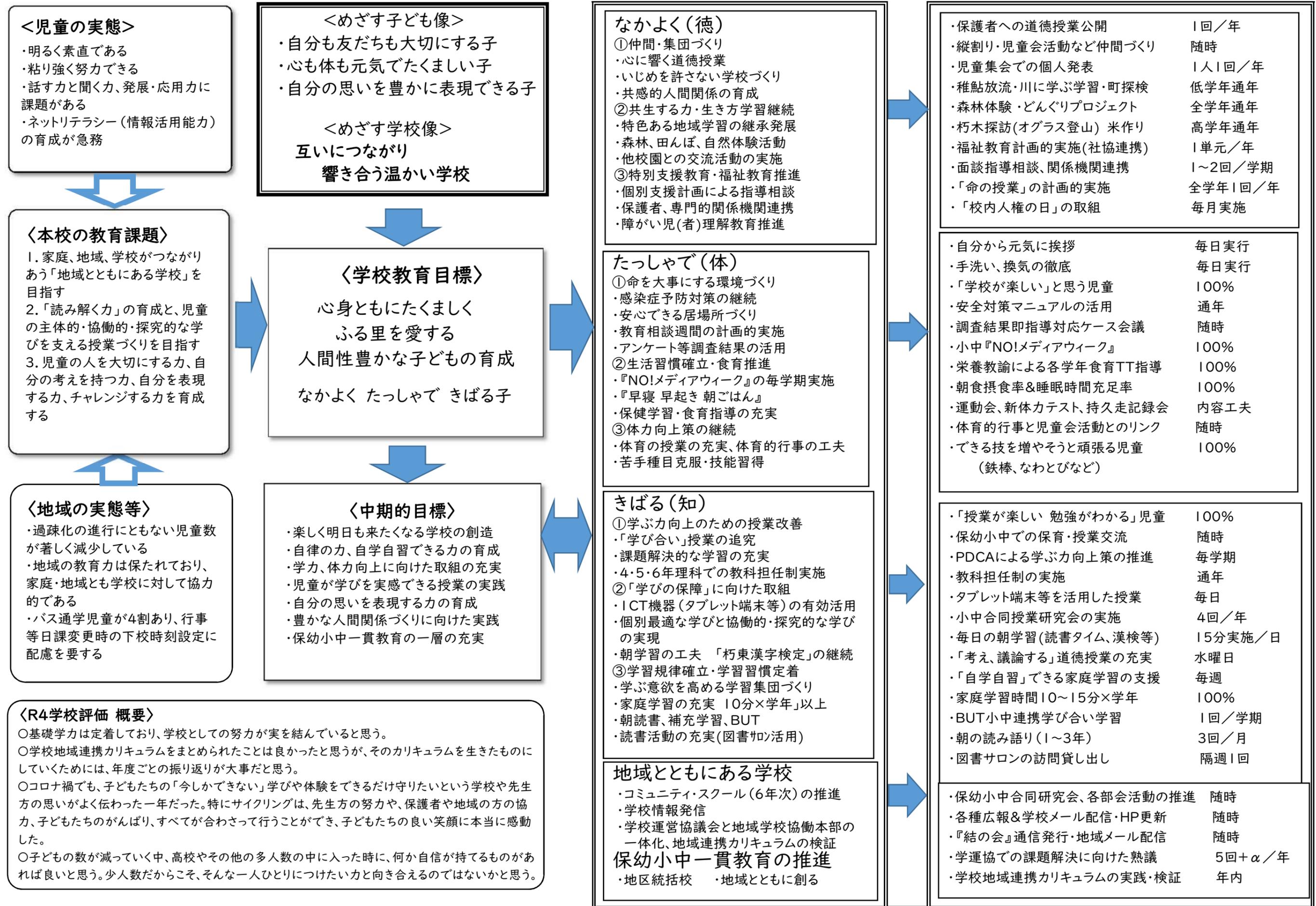
- 学力の向上…B 授業を楽しみにしている(生徒69%)
- 豊かな心づくり…B 学習内容を理解できるように頑張っている(生徒89%)
- 健康な心身の育成…B 学校行事では周りの人のことを考え行動できた(生徒91%)
- 地域連携…B 自分に自信もてるよいところがある(生徒66%)
- 健康な心身の育成…B 学級は楽しい(生徒81%)
- 健康な心身の育成…B 行事や部活動を楽しんでいる(生徒92%)
- 健康な心身の育成…B 先生に相談できそうな環境である(生徒78%)
- 地域連携…B 学校と地域が連携をとり子どもの教育を進めている(保護者64%)

- 地域連携 教職員の資質向上
 - ・生徒の地域活動への参画
 - ・地域の教育資源から学ぶ教育の推進
 - ・学校行事の工夫と実践(新しい生活様式から)
 - ・地域とともにある学校づくり
 - ・家庭、地域への広報活動
 - ・教職員研修の充実(OJT 校内研修)

- ・学校地域連携カリキュラムの実践
- ・生徒が地域の活動に積極的に参加する
- ・サポーター会や各種地域団体との連携
- ・学校運営協議会の推進(年間5回)
- ・学校だよりの発行(月1回)
- ・配信メールによる情報提供(随時)
- ・小中一貫教育における研究授業(年2回)
- ・PTA活動の推進(可能な範囲で)
- ・実態にあわせた教職員研修の充実

【本年度の指導力点】

【到達目標・数値目標】



令和5年度 学校教育到達目標

高島市立朽木西小学校

<児童の実態>
 ・互いに仲よく物事に真面目に取り組む。
 ・明るく元気で、活動的である。
 ・多様な意見の中で自分の考えを深めることが難しい
 ・発展・応用力が不十分
 ・基本的な生活習慣に乱れがある。

<めざす子ども像>
 ○自他の健康と命を大切にすること
 ○深く考え、根気よく行動すること
 ○豊かな心と夢をもつこと
 <めざす教師像>
 ○個に応じた分かる授業ができる教師
 ○人に寄り添い共感できる教師
 ○保護者や地域と協働できる教師

<本校の教育課題>
 ・地域の豊かな自然や文化、人材を生かしたへき地校ならではの教育活動の工夫
 ・極少人数学級の良さを生かした学習指導の充実(自学自習)
 ・コミュニティ・スクールを軸にした「地域とともにある学校」の構築(学校と地域が連携・協働する体制づくり)

<学校教育目標>
**針畑を愛し、地域とともに
 元気に生きる子どもの育成**
 <じょうぶで がんばる やさしい子>

<地域の実態等>
 ・学校の教育活動に理解があり協力的である。(PTA賛助会員)
 ・学校を愛し、子どもに対する愛情が深い。
 ・地域の生活文化の伝承等の学習にも、講師として熱心に指導していただける。
 ・人口減少による地域の過疎化、高齢化。

<中期的(3年間)目標>
 ・へき地校ならではの教育活動の工夫
 ・保幼小中一貫教育の一層の充実
 <東小との交流、遠隔合同学習>
 ・「地域とともにある学校」の推進
 ・キャリア教育の充実

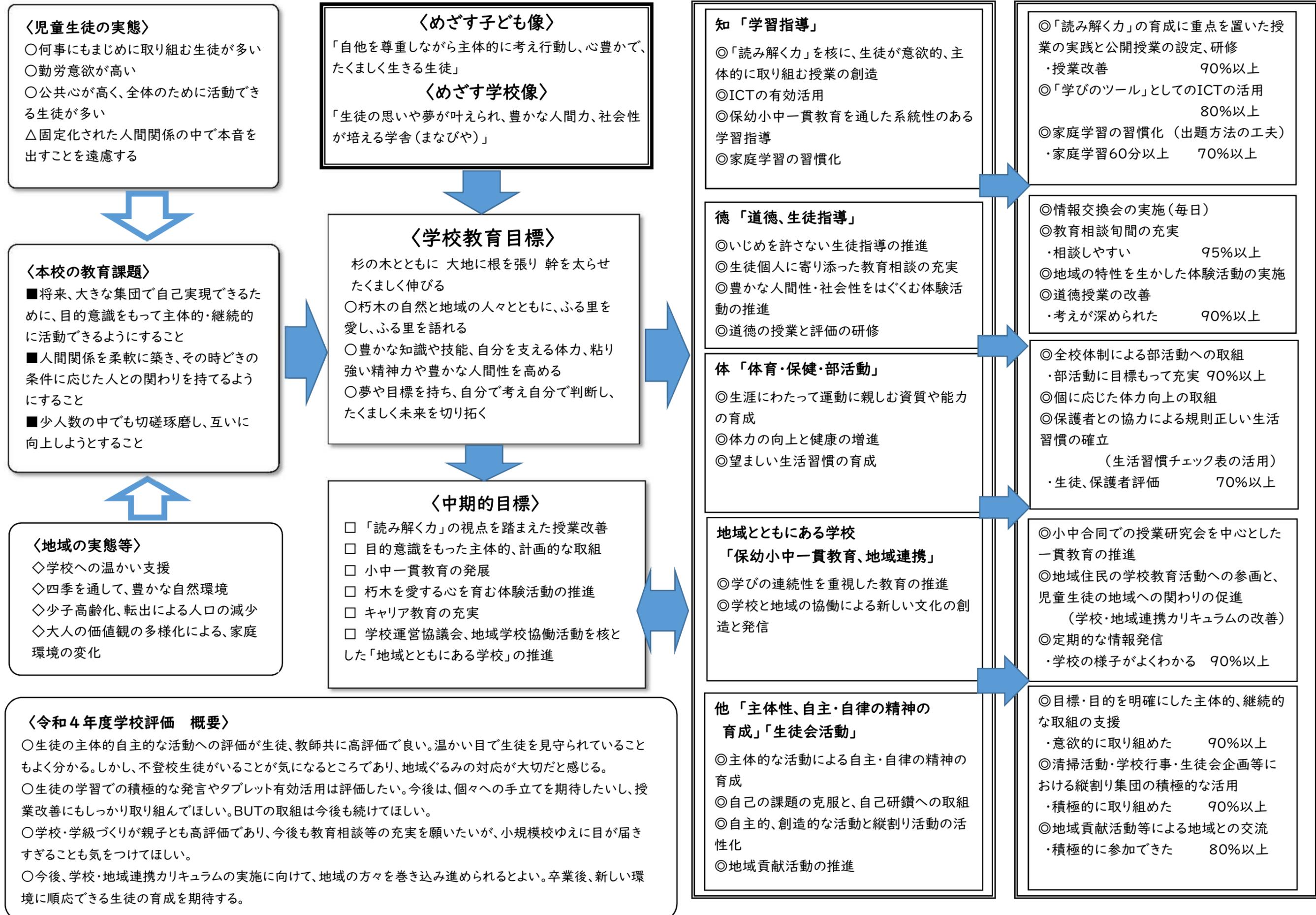
<R4学校評価の概要>
 ・児童は明るくのびのびと過ごしている。少人数だが、逆にモチベーションや向上心を高めている部分がある。多少乱暴な言葉遣いがあってもいじめにつながるものではないと思うが、感謝の心を表す、先輩を敬う、友達を理解する、謙虚な気持ちで誰とでも接するなど、大人が見本を示していく必要がある。
 ・外国語の指導や読書が充実している。ICTを使った授業も必要だが少人数のメリットを生かした授業も大切にしたい。西小学校の伝統でもある和太鼓も継続する方法を考えていく必要がある。地域に特化した授業(地元の古老の話聞くなど)の機会も取り入れてほしい。
 ・子どもが地域の方々を名字でなく「〇〇さん」と名前と呼んでいることには親しみを感じる。「チーム朽木西小」として、地域とPTAそして教職員間の交流をもっと深めたい。

<本年度の指導力点>

- 自他の健康と命を大切にすることの育成
 1. 適切な言葉遣いの習慣化
 2. いじめを許さない学校づくり
 3. 体力の向上
 4. 安全・健康に対する意識強化
 5. 防災・安全教育の推進
- 深く考え根気よく行動することの育成
 1. 深く考える指導の工夫
 2. 自主的、実践的態度の育成
 - <自学自習のカ>
 3. 学習意欲の向上と基礎・基本の定着
 4. 家庭学習の工夫と習慣化
 5. 保幼小中一貫教育での学びの充実
 - <遠隔授業交流・遠隔合同学習>
 6. 外国語教育の推進
 7. 読書活動の充実
- 豊かな心と夢をもつ子どもの育成
 1. 体験を通じた学びの充実
 2. マイスクール事業の推進
 3. 自分の思いや感謝の気持ちを豊かに表現できる心の育成
 4. 考えを深め心にひびく道徳教育の推進
 5. きめ細かな教育相談の実施
 6. 系統立てたキャリア教育の推進
- 地域とともにある学校づくり
 (チーム朽木西)
 1. 保護者や地域、関係団体・機関等との情報共有と信頼関係の構築
 2. 学校運営協議会の運営と地域学校協働活動の推進

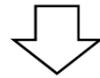
<本年度の到達目標：数値目標等>

- ① TPOに応じたあいさつ、言葉遣いの定着【每学期末自己評価】
 - ② 児童会によるいじめ防止の取組【每学期1回】
 - ③ 長休み・昼休み等を活用した全校での運動遊び【毎日】
 - ④ 生活リズム定着に向けた指導【毎日】
 - ⑤ 「自学自習」の実践【每学期末自己評価】
 - ⑥ 保護者や地域・関係機関等との連携による実践的な防災・安全学習【年間4回程度】<地域防災福祉組との連携>
-
- ① 極少人数の良さを生かした授業改善(自学自習)(一人一授業公開、授業研究会の実施)【100%】
 - ② 「授業が楽しい、勉強がわかる」児童の評価【100%】
 - ③ 効果的なICT機器の活用(一人一台タブレット)【随時】
 - ④ 東小学校での交流学習・BUT・遠隔授業交流・遠隔合同学習や中学校教員による教科担任制授業の実施【年間複数回実施】
 - ⑤ コミュニケーション能力の素地を培う外国語指導助手とのTT授業(遠隔授業)【(低10時間)・中35時間・高70時間】
 - ⑥ 読書の質の向上
 - ・朝読の実施、家読の奨励、新聞記事の活用
 - ・「お気に入りの1冊」発表会【每学期1回】
 - ・読書量の増加【月:(低10冊)、中5冊、高3冊以上】
-
- ① 地域、自然、文化を生かした体験学習【年間7回以上】
 - ② 和太鼓演奏の技能の向上とその成果の発表【運動会・文化祭・感謝祭・交流事業等年間5回以上】
 - ③ 感謝する心の育成と仲間づくり【每学期末自己評価】
 - ④ 地域の方や保護者が参画する道徳授業の実施【年間1回】
 - ⑤ きめ細かな教育相談の実施と全職員による情報共有・対応【随時】
 - ⑥ 「キャリアパスポート」の活用、キャリア教育の推進【每学期末自己評価】
-
- ① 保護者会・学校評価等でのニーズの把握と学校だより・HP更新による情報発信【随時】
 - ② 学校運営協議会での学校教育目標や経営方針等の共有、課題解決に向けた熟議【年間5回】



〈児童の実態〉

- ・素直で明るく、活発である。
- ・指示されたことは取り組むが、自主的に行動する力が弱い。
- ・最後まで粘り強く取り組む姿勢に課題がある。



〈本校の教育課題〉

- ・基礎的・基本的な力を身につけ自ら課題を解決する力を育成する。
- ・いじめのない、互いに助け合い励ましあえる学習集団を育成する。
- ・新しい安曇小文化の創造。



〈地域の実態等〉

- ・学校教育活動の推進に、理解と協力がある。
- ・PTA活動や学校行事には、積極的に参加され、協力的である。
- ・学校支援については、必要な時に必要な支援がある。
- ・保護者の価値観の多様化、生活基盤の脆弱化等、子どもに影響している。

【令和4年度学校評価の概要】

- ・(児童) 授業が楽しい、わかる85%、学校が楽しい87%、学校は居心地がよい82%
- ・(教師) ICTの使用を心掛けた、よりよい人間関係づくりのための指導・配慮、総合的な学習の見直し、基礎的な力の定着
- ・(保護者) 学校に楽しく通っている92%、学校の学習を理解している90%、お便りや連絡文書等で、学校の様子をだいたい把握している92%
- ・(地域) ICTの取組は、よい取組ができている。地域から入っていき、一緒にできる活動が増えていくとよい。

〈めざす子ども像〉

- ・互いの違いを認め合いながら、自らの目標をもち、考え、伝え、主体的に行動する子ども

〈めざす学校像〉

- ・生きる力を育む学校
- ・学ぶ楽しさを実感できる学校
- ・安心、安全で居心地のよい学校
- ・地域から信頼される学校

〈学校教育目標〉

「豊かな心と自ら学び考える
意欲をもつ 心身ともに
たくましい安曇っ子の育成」

合言葉

じょうぶで がんばる やさしい子

〈中期的(3年間)目標〉

- ・基礎、基本の確実な習得と、学び合いを活性化し、主体的、対話的で深い学びの創造
- ・読解力等言語力、活用力を高める授業の展開
- ・ICTの活用による、わかる、できる授業の創造
- ・道徳教育の充実で豊かな人間関係を育成し、いじめを絶対に許さない仲間づくりの推進
- ・健康、体力づくりと、豊かな心の育成
- ・小中一貫教育の推進による教育課程や生徒指導面での連携とキャリア教育の一貫した取組
- ・学校運営協議会・地域学校協働活動を核とした地域とともにある学校の推進

〈本年度の指導力点〉

○自ら学び考える教育の創造

- ・魅力ある授業で、基礎的・基本的な学習内容の定着と主体的な学習の推進
- ・1人1台端末を生かした個別最適な学びと協働的な学びの実現
- ・地域学習や福祉学習を核とした生活科、総合的な学習の時間の推進
- ・読み解く力を育成し、自分の言葉で表現する子の育成
- ・パワーアップタイム等による「書く力」の育成

〔我が校の学ぶ力向上策の実践〕

○豊かな心と良好な人間関係づくり

- ・児童によるいじめ啓発活動
- ・言葉遣いや言語環境の整備
- ・心をつなぐあいさつ運動
- ・ソーシャルスキルとコミュニケーション能力の育成
- ・教育活動全体を通じて、道徳科の充実と藤樹先生の教えに学び実践する心の教育の推進

○たくましい心と体づくり

- ・業間運動、鉄棒や縄跳び、マラソン等の体力づくりの推進と自己の体力の課題改善に向けた取組
- ・食育の推進や早寝早起き等生活リズムの構築
- ・感染症予防と安全対策の徹底

○小中一貫教育の推進

- ・豊かな学びにつなぐ授業研究の充実
- ・一部教科担任制による指導の充実
- ・安心して意欲的に学べる学習環境づくり

○家庭、地域等との連携

- ・学校便り等による保護者、地域への情報発信
- ・学校運営協議会を基軸に地域学校協働活動の推進、学校関り人口の増加、つながり響き合う教育の実践
- ・学校地域連携カリキュラムの実践

〈本年度の到達目標:数値目標〉

《自ら学び考える教育の創造》

- ・授業が楽しい、わかる
児童評価 90%以上
- ・相手の話をしっかり聞ける
児童評価 90%以上
- ・自らの課題に主体的に取り組む家庭学習と自主学習の習慣化
- ・パワーアップタイムで「書く力」が身についたと実感する児童評価 90%以上
- ・朝読書等での読書の習慣化
- ・効果の上がる校内研究、校内研修とOJTの推進
- ・発達段階に応じたキャリア教育の推進

《豊かな心と良好な人間関係づくり》

- ・学校に来るのが楽しい
児童評価 90%以上
- ・学校、学級は居心地がよい
児童評価 85%以上
- ・自分も他者も大切にする児童の育成
- ・ソーシャルスキルトレーニングの実施
- ・自尊感情を育む、教職員の働きかけ
- ・個別の教育支援計画、合理的配慮に基づく、きめ細かな指導と支援の実践
- ・藤樹先生の教えに学び、よりよく生きる道徳教育の推進
- ・縦割り活動、ペア活動による良好な人間関係の育成

《たくましい体と健康づくり》

- ・高学年での体力の向上
- ・生活アンケート等による家庭への啓発と規則正しい生活習慣の確立

《小中一貫教育の推進》

- ・小中合同学習は、中学校進学への不安解消に役立った

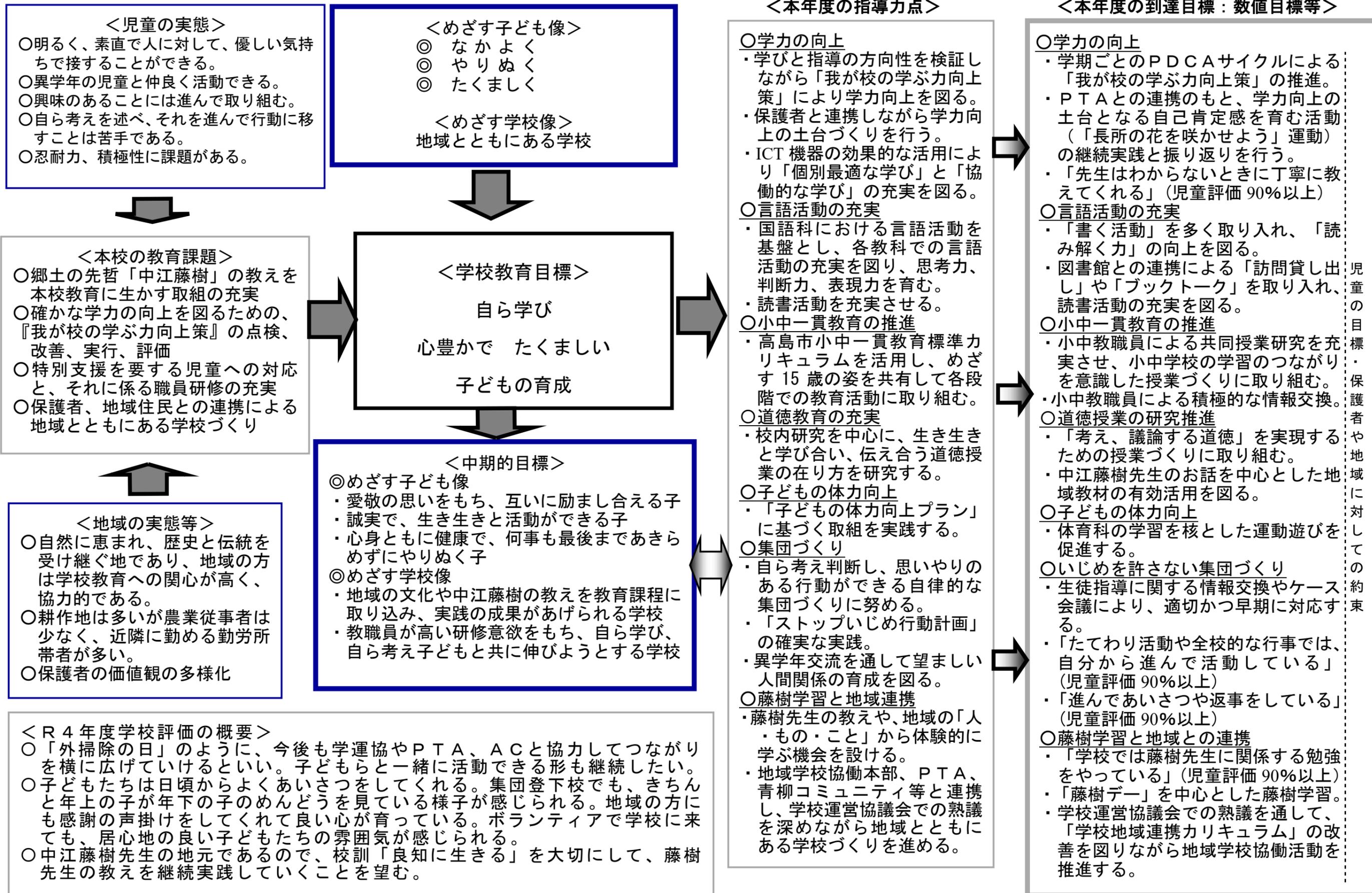
児童評価 95%以上

- ・部会の再編による、教師のつながり感の高揚

《家庭、地域等との連携》

- ・新たな学校支援ボランティアの発掘と組織化
- ・地域学校協働活動の一つとして広瀬学区でのマラソン大会の実施
- ・学校関り人口の増加のための取組
- ・学校地域連携カリキュラムの実践と共有

令和5年度 学校教育到達目標 高島市立青柳小学校



令和5年度 学校教育到達目標 高島市立本庄小学校

<児童の実態>
 ○向上心を持ち、目標に向かって努力できる。
 ○誰とでも仲良く、協力して活動できる。
 ○何事にも、真面目に取り組める。
 ○控えめで、積極的に行動することが苦手な子が多い。

- めざす 子ども像
 - ・心身ともにたくましい子
 - ・志を持ち、実現しようとする子
 - ・互いに認め合い、尊重し合う子
- めざす 学校像
 - ・安心、安全な学校
 - ・子どもが生き生き学ぶ学校
 - ・地域に根ざした信頼される学校
- めざす 職員像
 - ・専門性を発揮し組織で協働
 - ・使命感をもって研修に励む
 - ・自らの襟を正し、信頼を得る

<本校の教育課題>
 ○基礎学力の定着や思考力・表現力の育成に課題がある。
 ○助けや指示を待つことが多く、主体的に粘り強く学ぼうとする姿勢に欠ける。
 ○読書習慣の定着が十分でない。
 ○少人数で、決まった集団の中で過ごすため、人間関係を広げたり、コミュニケーション力を身につけたりする機会が少ない。

<学校教育目標等>
校訓
『たくましい子 本庄の心』
「地域の願いや期待を受け止め、自らの未来を切り拓こうとする意志と能力を持つ子ども」

<地域の実態等>
 ○滋賀を代表する自然遺産の琵琶湖に近く、豊かな自然環境に恵まれている。
 ○学校の取組に理解があり、協力的な保護者や地域の方々が多い。
 ○少子高齢化や人口減少に伴う地域力の低下、文化や伝統の継承への不安がある。

<中期的(3年間)目標>
 ○基礎学力の定着を図り、思考力・表現力を伸ばす。
 ・読み解く力を発揮して学びを深める授業づくりを行う
 ○自ら考え、ともに学び合う力をつける
 ・自らの志を実現しようとする意欲を育てる
 ○豊かな心、たくましい体を育てる
 ・様々な体験を通して、心身ともにたくましい本庄っ子の育成を図る

<令和4年度学校評価の概要>
 ・アンケート結果や学習参観、ゲストティーチャーとして授業に関わる経験などから、本庄小学校は小規模校の良さを活かし、児童一人ひとりに行き届いた教育が実施されているといえる。評定にもA評価が並ぶように、多くの指標で目標が達成できている。
 ・タブレット端末の導入により、学習の様子が変わってきたことが随所に感じられる。子どもたちも、「授業が分かりやすく楽しい」(98%)と回答していることから、素晴らしい成果の一つだと思う。ただ、「記憶や記録に残す」から「保存する」に変わると、感性はどうなるのだろうかという心配もある。
 ・学校運営協議会としても、熟議の結果を受けて、除草をはじめとする環境整備活動や学校支援ボランティアなど(地域学校協働活動)を積極的に行ってきた。その結果、地域の方が学校に足を運び、地域とともにある学校づくりがより一層進んできていることを感じる。
 ・中学校進学への不安は、中学校入学後の気後れに繋がる。他校の児童と比べると、本校の児童はやはり雰囲気が違う。小規模校で、一人ひとりが大事にされるのはよいことではあるが、過ぎればそれは弊害にもつながる。子どもの自立にとって何が必要か、小規模校だから考えるべき課題もある。

【本年度の指導力点】

学力向上のための力点
 ○読み解く力を発揮して学びを深める授業
 ○思考力育成の礎となる語彙力・表現力の向上
 ○家庭学習の質の向上と定着
 ○PTAと連携した読書習慣の醸成
 ○未来を見据えた教育の充実
 外国語活動、キャリア教育、ICT活用、個別最適で協働的な学び

豊かな心を育むための力点
 ○個性を尊重し、つながり合う集団づくり
 ○「気づき、考え、実行する」を合言葉に、自発的で奉仕的な活動の推進
 ○自己肯定感を高める取組の工夫
 ○人権意識を高める授業や取組
 ○価値観を深める道徳授業の推進
 ○考え議論したくなる道徳科の授業づくり

たくましい心身を鍛えるための力点
 ○より高く目標を設定し、その達成に向かって努力する児童の育成
 ○「早寝・早起き・朝ご飯」、「挨拶・返事・靴揃え」等の生活習慣の定着
 ○勤労体験学習の工夫と充実
 ○「自分の命は自分で守る」行動が主体的にとれる意識の向上

地域とともにある学校
 ○学校運営協議会、地域学校協働活動の一体的推進
 ○保護者や地域の方々が参観や参加がしやすい取組の推進
 ○地域に学ぶ(地域の自然や文化、産業など)
つながり響き合う教育の推進
 ○中学校への円滑な進学を目指した体験入学・合同学習の工夫
 ○道徳科を窓口小中合同授業研究の実施

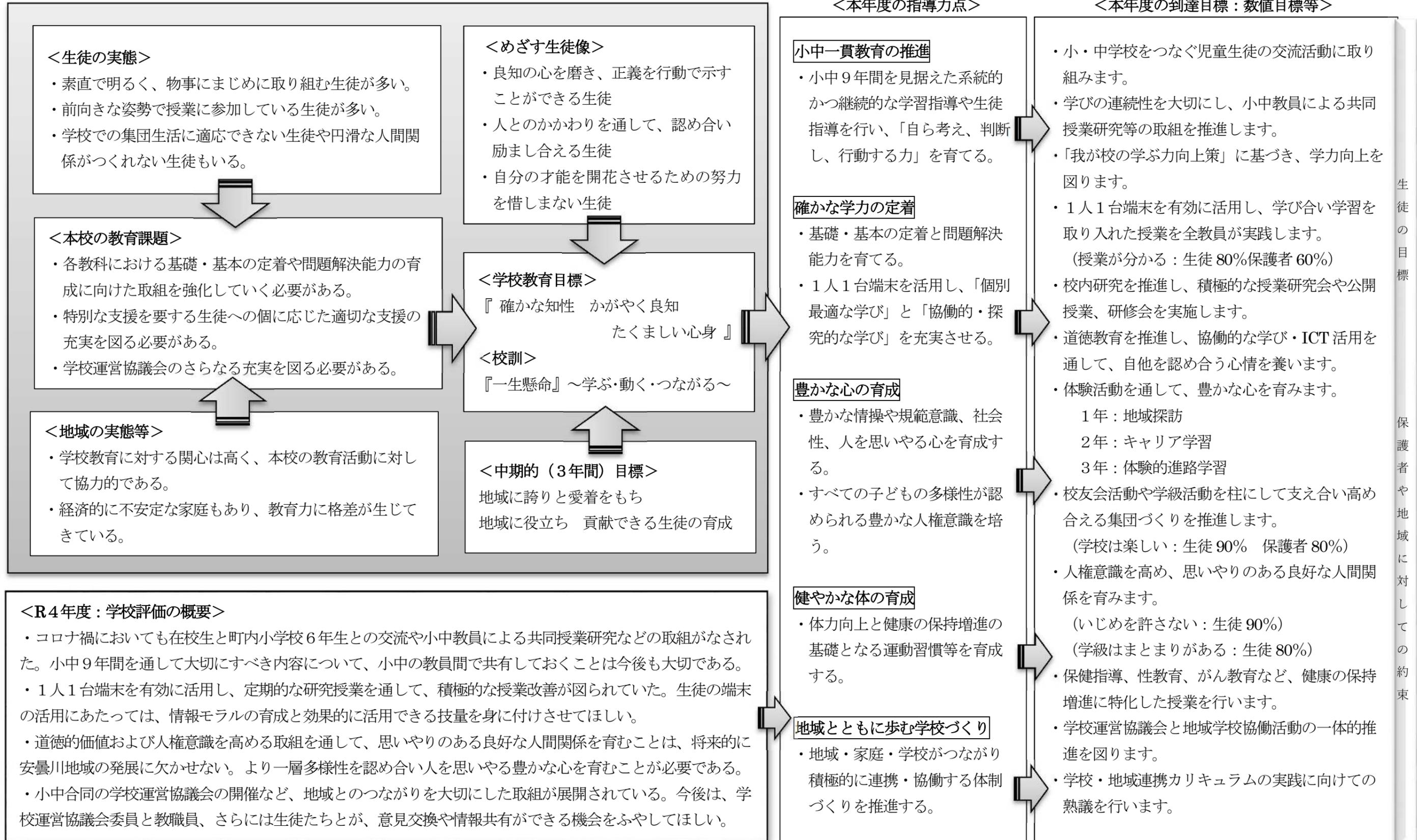
【到達目標・数値目標】
 数値は「よくそう思う」(強い肯定)の割合

○学力の向上
 ・「学習の内容は分かる」 (75%以上)
 ・意見の交流や深め合う授業づくり (50%以上)
 ・家庭学習の習慣化 (75%以上)
 ・読書量(低:150冊、中:100冊、高:70冊)
 ・読書チャレンジの実施
 ・ICTを効果的に活用した授業の実施 (75%以上)

○豊かな心の育成
 ・学級が楽しい、学校へ行くのが楽しみ (75%以上)
 ・「気づき、考え、実行する」の実践 (75%以上)
 ・自分には良いところや得意なことがある (75%以上)
 ・自分の価値観や考えが深められるような道徳科の授業づくりの工夫 (50%以上)

○心身のたくましさ
 ・自己目標(マラソン、遠泳)の達成に向けて努力できた。 (75%以上)
 ・「早寝・早起き・朝ご飯」、「挨拶・返事・靴揃え」の習慣 (75%以上)
 ・効果的な避難訓練や防災教育の実施
 ・学校は安心できる場所だ (75%以上)

○保護者や地域との連携
 ・学校運営協議会の実効的な運用
 ・本庄が好きで誇りを持っている(80%以上)
 ・学校・学年だより、ホームページ等により、学校や児童の様子が分かる。 (50%以上)
 ○保幼小中の連携強化
 ・中学校進学への不安を感じていない児童 (75%以上)
 ・小中合同の研究授業の効果を感じている教員 (50%以上)



生徒の目標
保護者や地域に対しての約束

令和5年度 学校教育到達目標

高島市立高島小学校

< 児童の実態 >

- 児童は明るく、真面目で何事にも一生懸命取り組み、校内では活発に遊ぶ姿も見られる。
- 放課後は学童や習い事で過ごす児童が多く、地域では群れて遊ぶことはほとんどない。
- 人間関係がこじれたり、偏った見方がされたりすると、その関係は固定化されてしまうことがある。
- 自分の思いを上手に相手に伝えられなかったり、自分本位な判断をしたりして、望ましい人間関係を築けないといった、個々の課題のある児童もいる。

子ども像

- たくましく元気な子
- かしこい判断ができる子
- しっかり聴いて、よく考える子
- まわりを思いやる子

学校像

- 学びを大切にする学校
- 心を磨き高め合う学校
- つながりを大切にする学校
- 地域とともにある学校

< 本校の教育課題 >

縦をつなぐ小中一貫教育を通して、自ら学び、正しく判断し、実践できる力と豊かな心を育み、横をつなぐ地域とともにある学校づくりにより、保護者や地域に信頼される学校を創造する。

< 学校教育目標 >

確かな学力と豊かな心を身につけ、たくましく未来を拓く子どもの育成

< 地域の実態等 >

- 山村部と市街商業地域が併存している。新興住宅はあるが、いずれの地域においても人口は減少傾向にある。
- 核家族や両親共働きの家庭が多くなり、かつての三世同居世帯は少なくなっている。
- 保護者・地域住民は、学校教育への関心は高く協力的であるが、互いの関係性は希薄化している。

< 中期的【3年間】目標(2年目) >

- 「学ぶ力の向上」をめざし、個別最適な学びと協働的・探究的な学びを実現する授業改善を進める。
- 義務教育9年間の学びの土台となる基礎基本の習得を徹底し、主体的な学び方を身につける。
- 児童理解を深め、自主的体験的な活動を重視し、人間的ふれあいを基調にした教育活動を進める。
- 多くの人との関りを通して、自分の個性や可能性を信じ、よりよく生きようとする「志の教育」を進める。
- 家庭・地域との連携を密にし、開かれた学校づくりに努める。

< 令和4年学校評価 概要 >

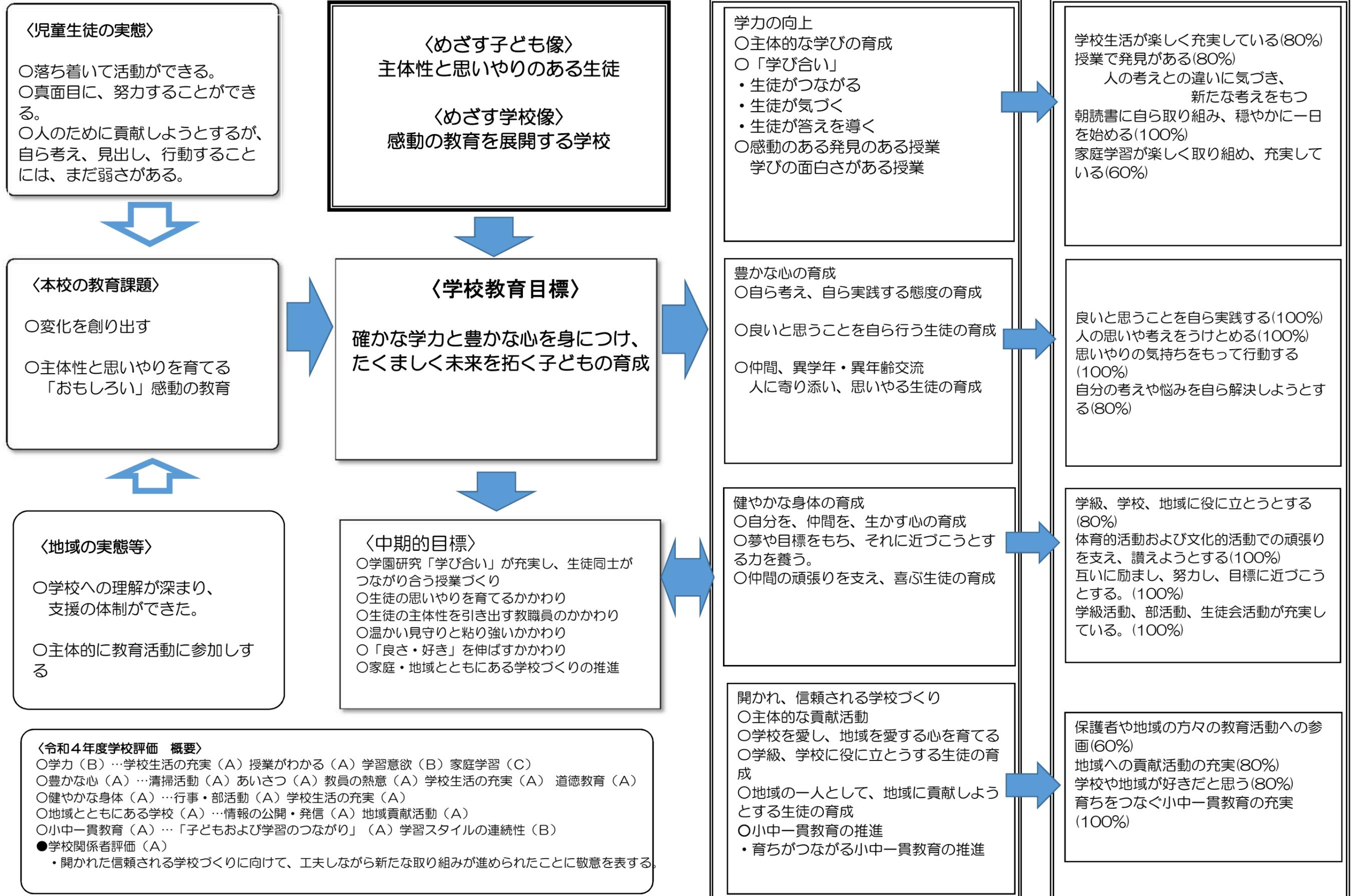
- 確かな学力の定着[B]
読書活動の改善は一定成果が見られた。:B71%(児)/29%(保)、授業がわかる:A93%(児)/76%(保)
- 豊かな心の育成[B]
道徳の授業が生活のためになる:B92%(児)
縦割りや主体的な活動による児童会活動の活性化を図ることができた。
- 豊かな人間関係を結ぶ力の育成[A]
児童が全校を意識できるよう集会の持ち方を工夫した。学校が楽しい:A91%(児)/87%(保)
毎月の人権の日の集会や児童会の取組により人権意識を高めた。学級の友達を大切にしたい:A99%(児)
- 健康な心と体の育成[B]
基本的な生活習慣の定着、手洗いうがいの励行による病気の予防:B93%(児) 残食減の取組には課題
- 小中一貫教育の推進[B]
学園研究や交流指導により連携を深めた。A84%(教員)

【本年度の指導力点】

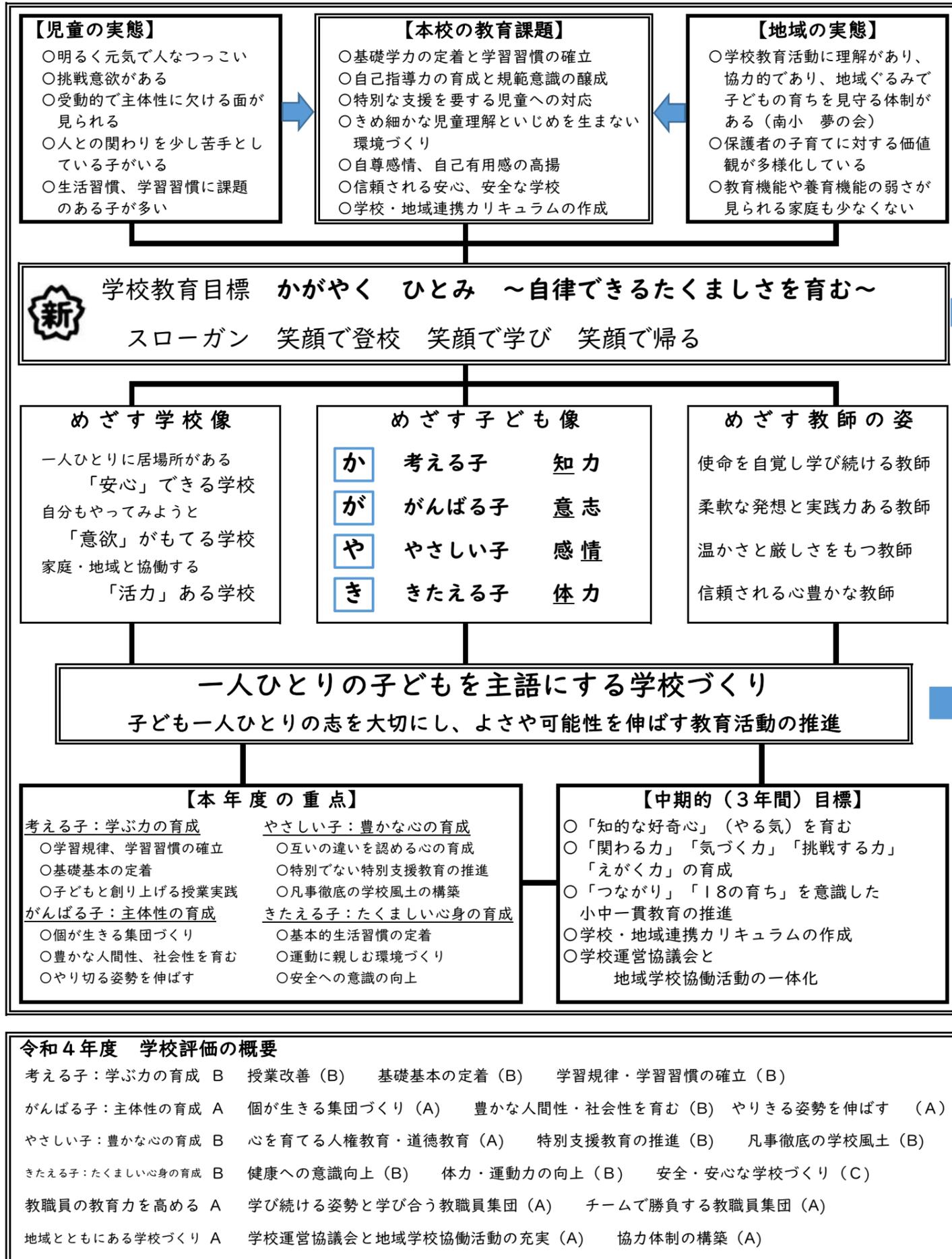
- 【確かな学力のための力点】**
 - 子どもを真ん中においた個別最適な学びと、協働的な学びになる授業改善
 - 読書活動の活性化
 - 特別支援教育の充実
 - 自主学習の習慣を確立
- 【豊かな心の育成のための力点】**
 - 自分事として生き方を見つめる道徳教育の推進
 - 望ましい人間関係を土台にした生徒指導の推進
 - 主体性を引き出す児童活動の推進
- 【豊かな人間関係を結ぶ力を育成するための力点】**
 - 相手の立場を尊重し、人権意識の高い、いじめを許さない集団づくり
 - 礼儀正しい節度ある生活態度(あいさつ、時間を守る、掃除)の育成
- 【健康な心と体の育成のための力点】**
 - 児童理解を土台にして、自己指導力の向上をめざす生徒指導の推進
 - 命を大切に、健康で安全な生活実現を目指し、行動できる資質能力の育成
 - 基本的な生活習慣の確立と食に関する指導の充実
- 【小中一貫教育推進のための力点】**
 - 学園授業研究会の充実
 - 小中教員の交流指導による連続した指導の充実
- 【地域とともにある学校づくりのための力点】**
 - 学校運営協議会と地域学校協働活動の連携、一体化
 - 協働して地域全体で子どもの成長を支える風土の醸成

【到達目標・数値目標】

- ・中学校と一体となって授業研究やOJTに取り組み、思いを深め、達成感のある学びを実現する指導力の向上に取り組む。【月1回のOJTの実施100% (教師)】
- ・朝読書の充実や、読書環境の整備を進め、読書に親しむ児童を増やす。【読書冊数目標到達70%(児)/50%(保)】
- ・個別の指導支援のための指導力向上に取り組む。【研修会の実施】
- ・ゆめノートを活用した家庭学習の充実に取り組む。【家庭学習の時間を達成した児童が85%以上】
- ・他の教育活動と連携した道徳カリキュラム(別様)を着実に進め、日常に立ち返る道徳教育を進める。
- ・文化芸術に直に触れ、豊かな情操を養う。
- ・中学校と連携した特別活動の活性化を図り、児童の主体性を引き出す活動に取り組むとともに、望ましいリーダーの育成を図る。【学校生活の楽しさ:80%(児)/75%(保)】
- ・児童集会や行事等を通じて、友達や多様な人々との交流の機会を増やす。【学校生活の楽しさ:80%(児)/75%(保)】
- ・人権意識を高める指導に加えて、中学校と協働した児童生徒の主体的な活動を通して、いじめ未然防止に取り組む。【いじめがなく学校生活が楽しい95%(児)】
- ・真面目で誠実に学校生活を過ごす態度を育成する。【あいさつ、時間、そうじ85%以上(児童)】
- ・生徒指導の3機能を意識した教育活動を展開し、一人ひとりの児童に居場所がある学級づくりを進める。【学校生活の楽しさ:80%(児)/75%(保)】(再掲)
- ・児童理解のための教育相談の機能を充実する。【困っていることを先生に相談できる85%(児)】
- ・真面目で誠実に学校生活を過ごす態度を育成する。【あいさつ、時間、そうじ85%以上(児童)】(再掲)
- ・残食0日数の増加に取り組む。
- ・中学校と一体となって授業研究やOJTに取り組み、思いを深め、達成感のある学びを実現する指導力の向上に取り組む。(再掲)
- ・小中教員の交流授業を進め、小学校の教科担任制と中学校での複数指導の拡充を図る。
- ・学校運営協議会と協働し、学校地域連携カリキュラムによる教育活動を推進する。
- ・PTAと協働し、家読の推進に取り組む。(再掲)



令和5年度 学校教育到達目標 高島市立新旭南小学校



〈児童の実態〉

- ・素直でやさしい。
- ・学習や活動に真摯に取り組む。
- ・異年齢の結びつきが強い。
- ・気力や自主性がやや乏しい。
- ・学力や体力に二極化の傾向がある。

〈めざす子ども像〉 相手の立場に立って行動する子 いじめをしない、許さない子 集団で考え、課題解決に向け行動する子 集中してねばり強く取り組む子 進んで体を動かそうとする子 規則正しい生活を送れる子	〈めざす学校像〉 笑顔いっぱいの学校 個々の良さを認め、自覚できる学校 心が通い合い、思いやりのある学校 地域住民が足を運びやすい学校 「チャレンジする意欲」「できる喜び」「高まる自分」が体感できる学校
〈めざす教師像〉 笑顔を絶やさず、元気を与える教師 地域住民の願いを共有し、ともに活動する教師 人権感覚を高め、子どもの目線を忘れず見守る教師 専門性を生かし子どもの学ぶ意欲を刺激する教師 現状に満足せず改革を目指す教師	

〈本校の教育課題〉

- ・「適切な言葉遣い」(児)90%(教)77%。意識に差が見られる。「自分からあいさつ」(児)86%(保)72%、言葉の使い分け、登下校時の挨拶に課題。
- ・「ふだんから読書」(児)64%(保)46%「読書指導に工夫」(教)67%。全般的に低迷。
- ・「総合的な学習：地域の実情を生かし、探求的な活動を展開」(教)91%、自主的に課題を作る場を設ける意識づけを継続する。
- ・「早寝早起き朝ご飯リズム」(児)82%(保)86%(教)77%…家庭と学校の意識に差がある。就寝時刻が遅く、朝のスタートが気持ちよく始められない児童も見られる。

〈学校教育目標〉
自ら考え 変化に挑む子の育成

“新たな課題に向かい、
アイデアを出し合い、高め合い、
支え合う子ども”

〈地域の実態等〉

- ・豊かな自然、文化に恵まれ、古くからの風習が息づいている。
- ・人々は温厚であり、教育に対する関心が高く、協力的である。
- ・地域によって児童数の増減に偏りがある。

〈中期的目標〉

- ・豊かな人間性、自主性、社会性の育成と学力向上
(生活習慣・学習習慣の確立)
- ・教員の専門性の向上
(ファシリテーション力・探究的授業へ対応)
- ・地域住民とともに意識改革
(地域住民との協働、地域とともにある学校)

〈令和4年度学校評価 概要〉

○5.6年生の総合的な学習の時間で展開した地域学校協働活動はオリジナルな取組であり高く評価できる。子どもをほめる機会を多く生み出せること、「やればできる」ということを身をもって実感できる良さを大切に育てていきたい。

○何のためにその活動をするのかを十分に考えさせ、高学年の登下校のリーダーシップを高め、あいさつ運動等に取り組ませることが必要である。4年生の愛鳥の森への1年生招待や九九道場における6年生の指導等でたてわり活動の活性化につながる役割を持たせることで自信を持たせたい。

○タブレットの使い方や学習時間と休み時間のメリハリをどの学年でも徹底することにより、誰もが気持ちよく過ごせる学校づくり、集団づくりへと導くことが様々な活動を支える土台となる。

つながり響き合う教育の推進

☆ **タテのつながり**
湖西中学校区での保幼小中高一貫教育の推進
『学び合い』に視点を当てた授業・保育交流の推進
こども園・中学校との交流活動の復活・充実

☆ **ヨコのつながり**
地域学校協働活動の継続・発展
地域と学校が一体となって子どもを育てる意識の醸成
地域住民の学校運営への参画
地域住民の来校促進

☆ **未来とのつながり**
将来を見据えた教育活動の展開
キャリアパスポートの活用により自分の未来を描く
社会や団体への貢献を感じる活動の展開

つながり響き合う教育の推進

☆ **タテのつながり**
「小中一貫教育を有意義に感じ、積極的に取り組んでいる。」および「つながりを意識して自己の授業づくりに取り組んだ」(職員評価)71%→100%

☆ **ヨコのつながり**
学校運営協議会・希望の会の活動を理解している。(職員評価)100%→100%継続
地域住民とともに取り組む協働活動に意義を感じる。(職員評価)新項目→100%
地域住民が集える場としての学校を推進し、住民と児童・教員の交流を深める。

☆ **未来とのつながり**
キャリア教育の視点を生かす学習・郷土の良さを知る学習(藤本太郎兵衛、針江かばた、熊野本古墳群、清水城)に積極的に取り組む。
たてわり活動は有意義である(児童評価)82%→100%
係・委員会活動を工夫(児童評価)87%→100%

やさしい子 かしこい子 強くたくましい子の育成

☆ **やさしい子**
思いやりのある、差別やいじめのない学校づくり
基本的な生活習慣・行動様式の定着
子どもが活躍する場、子どもと子どもがつながる場づくり

☆ **かしこい子**
学習規律を整え、秩序を大切に授業づくり
子どもと子どもをつなぐ、主体的に学び合う言語活動の充実
「読み解く力」を重点においた授業づくり
ICTを活用した学び方改革

☆ **強くたくましい子**
遊びを通じた仲間づくりと体力づくり
運動能力向上の全校的な取組の推進
「早寝早起き朝ご飯と正しい生活リズム」の推進

やさしい子 かしこい子 強くたくましい子の育成

☆ **やさしい子**
読書活動の推進「読書に取り組む」(保護者評価)46%→70%(児童評価)64%→80%
あいさつ運動の推進「時と場に応じた言葉遣いができている」(職員評価)77%→90%
たてわり活動の推進「いじめ・仲間はずれにしない」(児童評価)96%→100%

☆ **かしこい子**
「学習規律が定着、学習にメリハリがある」(職員評価)85%→100%「授業改善に取り組む」(職員評価)77%→100%
全学級でガッテンプリントを活用する。
タブレット端末を活用した学習をさらに充実させる。

☆ **強くたくましい子**
なわとび マラソン等強化月間を継続する。
「早寝早起き朝ご飯」の習慣化(保護者評価)86%→100%
睡眠の重要性、就寝時刻にかかる啓発に取り組む。

